

区長会が研修会を開催

～6月にボランティア登録を申請～

【区長研修会】

6月23日、区長会が地域の課題を考えるため、田川市民会館で研修会を開催しました。今回は、市の山口のり子高齢障害課長補佐が「田川市の地域包括ケアシステム～高齢者を支えるしくみ～」をテーマに講演。続いて「関わってよかったといわれる…これからの地域活動を目指して」と題して、まちづくりファシリテーターの十時裕さんが講師を務めました。参加した55人の区長は研修を通して刺激を受け「安心して暮らせるまちづくりを進めたい」「研修で得たヒントをいかしたい」などと語りました。

【ボランティア登録】

6月末、区長会は市に田川市民活動団体登録を申請しました。清水博文会長は「まちづくりや地域貢献のためにできることを進めていきたい」と抱負を語りました。



▲山口のり子高齢障害課長補佐



▲まちづくりファシリテーター 十時裕さん



▲区長研修会

川渡い神幸祭・春日神社神幸祭 清掃美化ボランティア

祭りを楽しみながら清掃するボランティアを募集したところ、たくさんの方が力を貸してくれました。ありがとうございました。

●川渡い神幸祭 5月19日、20日、21日開催

田川の宝！彦山川を創る会中流部会・まつりIN 田川実行委員会共催

●春日神社神幸祭 5月26日開催

中元寺川子どもの水辺協議会・後藤寺おまつり広場・春日神社みこし会共催

小学生が絵を描いたごみ箱は、祭り会場の美化にひと役買っています



伊田小学校(5月21日)



東鷹高等学校(5月21日)



西田川高等学校(5月28日)



協働事業提案制度がスタート ～市の課題解決を検証～

協働事業提案制度とは、市民活動団体と行政が協働で地域の課題解決に取り組む制度です。初年度は「団体と担当課のマッチングと公開プレゼンテーション」、翌年度から最長2年間「検証事業」を実施し、検証後の方向性を決めます。1事業につき50万円を限度に市が負担します。



面談会を開催しました



6月28日、協働事業を提案した3団体と市担当課が面談しました。協働促進アドバイザーの今村晃章さん(NPO法人ミディエイド代表理事)が調整役となり、課題や事業の方向性を話し合いました。今後も面談を重ね、役割分担などが決まれば右記の公開プレゼンテーションに臨みます。

●担当課・団体

- ①学校教育課・NPO法人k'sグループジャパン
- ②文化生涯学習課・田川郷土研究会
- ③総合政策課・福岡県立大学と共に歩む会

公開プレゼンテーションを開催します

本年度から始まった協働事業の公開プレゼンテーションを開催。提案団体と市担当課が、審査員や見学者に熱い思いを伝えます。

- とき 8月7日(火) 13時30分～14時50分
- ところ 市役所4階会議室
- 申し込み 不要

人材バンク「園芸講座」がハンギングバスケットを飾る

5月24日、人材バンク「園芸講座」の加来浅夫講師と受講生が、田川市民会館や「美しいまちづくり記念花壇」(ひかりヶ丘)への花植えなどに汗を流しました。

今回初めてハンギングバスケットづくりに挑戦する受講生は、先輩に習って花の色合いを考えながら楽しく植栽し、6つのバスケットを完成させました。秋にはサツマイモ掘りのほか、公立保育所などの子どもたちと一緒にハンギングバスケットづくりが控えています。園芸講座は5人の新しい受講生を迎え、現在13人。野菜や草花に囲まれて、市民のみならずと楽しく関わりながら、精力的に活動しています。



▲市民会館のハンギングバスケット



▲美しいまちづくり記念花壇と人材バンク「園芸講座」のみなさん